

中学歴史プリント（過去問類似）

平安時代

名前

得点

/10

問1 平安時代初期、遣唐使として唐に渡り、帰国後に新しい仏教の宗派を広めた人物について、空海が行った活動の説明として適切なものはどれですか。（2017年 高知公立入試 類似）

- 高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗を広めた。
- 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗を広めた。
- 知恩院を拠点として、浄土宗を広めた。
- 臨済宗を伝え、幕府の保護を受けて禅宗を広めた。

問2 平安時代中期、藤原氏の摂関政治が全盛期を迎えていた頃の文化について述べた文章として、正しいものはどれですか。（2020年 秋田県公立入試 類似）

- 藤原頼通によって、極楽浄土の様子を表現した平等院鳳凰堂が建立された。
- 聖徳太子によって、現存する世界最古の木造建築である法隆寺が建立された。
- 鑑真によって、唐の建築様式を伝える唐招提寺が建立された。
- 足利義満によって、北山文化を代表する金閣（鹿苑寺）が建立された。

問3 794年に山城国の平安京へ都を移し、奈良時代から続く政治の乱れを立て直すとともに、行政組織の整理を行った天皇は誰ですか。（2024年 広島公立入試 類似）

- 桓武天皇
- 天武天皇
- 聖武天皇
- 後醍醐天皇

問4 平安時代、藤原氏が自身の娘を天皇の后（きさき）とし、生まれた子を天皇に立てることで権力を握りました。このとき、天皇がまだ幼い時期に、天皇に代わって政務を行う役職を何と呼びますか。（2024年 長崎公立入試 類似）

- 摂政
- 関白
- 太政大臣
- 執権

問5 平安時代中期、菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されたことを一つのきっかけとして、日本の風土や日本人の感情に合った「国風文化」が発展しました。この時期に醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の「勅撰和歌集」の名称として正しいものを選びなさい。（2026年 京都府公立入試 類似）

- 万葉集
- 古今和歌集
- 新古今和歌集
- 平家物語

問6 最澄が平安時代初期に比叡山を拠点として活動した背景には、当時の外交の仕組みが深く関わっている。彼が新しい仏教や知識を取り入れるために利用した、当時の日本が唐に派遣していた使節を何というか。（2024年 東京都公立入試 類似）

- 遣唐使
- 遣隋使
- 勘合貿易
- 朝鮮通信使

問7 平安時代の終わりに、源氏との激しい争いを繰り広げた氏族について述べたものです。壇ノ浦の戦いで滅亡し、その過程で行われた南都焼き討ちが、後に鎌倉時代における東大寺再建の直接的な要因ともなった、この氏族は何ですか。（2017年 北海道公立入試 類似）

- 平氏
- 藤原氏
- 北条氏
- 蘇我氏

問8 日本の歴史における仏教寺院の立地について、最澄が建立した天台宗の本山である延暦寺の所在地を説明したものと正しいものを選びなさい。（2021年 長野県公立入試 類似）

- 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある
- 関東地方の広大な平野の中に位置し、交通の要衝となっている
- 瀬戸内海から九州方面へ向かう海沿いの地域に位置している
- 東北地方の北部に位置し、当時の政治の中心地から遠く離れている

問9 平安時代初期に最澄が行った活動の内容として、最も適切な説明を選びなさい。（2018年 和歌山公立入試 類似）

- 比叡山に延暦寺を建立し、法華経の教えを中心とする天台宗を広めた。
- 高野山に金剛峯寺を建立し、密教の教えを重視する真言宗を広めた。
- 念仏を唱えれば救われると説き、それまでの仏教を批判して浄土宗を開いた。
- 宋での修行を終えて帰国し、坐禅によって悟りを開く禅宗の教えを広めた。

問10 天皇や貴族、僧侶の間で茶を飲む習慣が見られた平安時代の社会背景において、この時期の出来事として述べた説明として適切なものを選びなさい。（2021年 長野県公立入試 類似）

- 平将門による大規模な反乱が発生し、武士の存在感が地方で高まった。
- 北条泰時が御成敗式目を制定し、武士のための法整備が進んだ。
- 聖武天皇が国分寺建立の詔を出し、奈良の都を中心に仏教文化が栄えた。
- 足利義満が日明貿易を始め、茶の湯などの東山文化が発展した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 高野山に金剛峯寺を建立し、真言宗を広めた。	空海是最澄とともに遣唐使として唐に渡り、帰国後に真言宗を伝えました。彼は現在の和歌山県にある高野山に金剛峯寺を建て、修業の場としました。これに対し、最澄は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を広めており、両者は平安時代の新しい仏教の二大勢力となりました。
問2	答え 1 藤原頼通によって、極楽浄土の様子を表現した平等院鳳凰堂が建立された。	平安時代中期には、藤原道長やその子の藤原頼通によって摂関政治が行われました。この時期、社会不安などを背景に「浄土信仰（浄土教）」が広まり、阿弥陀如来を祀って極楽浄土を地上に再現しようとする動きが活発になりました。その代表例が宇治に建てられた平等院鳳凰堂です。法隆寺は飛鳥時代、唐招提寺は奈良時代の建築物です。
問3	答え 1 桓武天皇	奈良時代の末期、肥大化した仏教勢力が政治に介入することを避けるため、新しい地での政治刷新を目指して遷都を断行しました。この際、それまでの平城京から長岡京を経て、最終的に平安京へと都を移しています。
問4	答え 1 摂政	藤原氏は、天皇が幼少の間は「摂政」として、成人してからは「関白」として政治の実権を握り、これを摂関政治と呼びます。藤原良房が皇族以外で初めて摂政に就任したことで、この政治形態が定着しました。執権は鎌倉時代に北条氏が務めた役職であり、混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 2 古今和歌集	遣唐使の廃止以降、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の風土に合わせて消化・吸収した国風文化が栄えました。この文化のなかで、漢字を簡略化した「かな文字」が発達し、紀貫之らが中心となって最初の勅撰和歌集（天皇の命令で編集された和歌集）である『古今和歌集』がまとめられました。『万葉集』は奈良時代、『新古今和歌集』は鎌倉時代初期、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。
問6	答え 1 遣唐使	当時の日本は、中国の高度な制度や文化を吸収するために遣唐使を派遣していました。最澄はこの使節に学問僧として同行することで、最新の仏教である密教に触れる機会を得ました。このように、古代の外交は宗教や文化の発展に極めて重要な役割を果たしていました。
問7	答え 1 平氏	平安時代末期に平清盛を中心として権勢を誇りましたが、源頼朝や義経ら源氏との戦いに敗れました。また、平重衡による南都焼き討ちによって東大寺の大仏殿などが焼失し、これが鎌倉時代に重源らによって再建されるきっかけとなりました。
問8	答え 1 近畿地方の中央寄りに位置し、滋賀県と京都府の境界付近にある	延暦寺が置かれた比叡山は、広域的な地域区分では近畿地方に該当します。滋賀県と京都府の県境付近という、当時の都であった平安京から見て北東（鬼門）の方角に位置していたことが、この地に建立された歴史的な要因の一つです。
問9	答え 1 比叡山に延暦寺を建立し、法華經の教えを中心とする天台宗を広めた。	最澄は、奈良時代の政治に関わりすぎた仏教のあり方を反省し、山の中での修行を重んじました。近江国（現在の滋賀県）の比叡山を拠点とし、すべての人が仏になれるという法華經の教えを説いたことが天台宗の特徴です。空海が高野山で開いた真言宗と混同されやすいですが、開祖と拠点の山の組み合わせを正確に把握する必要があります。
問10	答え 1 平将門による大規模な反乱が発生し、武士の存在感が地方で高まった。	平安時代初期、唐から伝えられた茶は、天皇や貴族、僧侶などの限られた層で愛好されていました。この時期の社会では、一方で地方の政治が乱れ、自衛のために武装した武士たちが勢力を伸ばしていました。その象徴的な出来事が、関東で起こった平将門の乱です。他の選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、東大寺や国分寺は奈良時代、日明貿易は室町時代の出来事です。